

ろくおん通信

発行日： 1993年 9月15日

No. 56号

発行者： 盲人情報文化センター録音製作係

「音声訳」を考える（第7回）

漢字の補足 その2

録音製作 清水賢造

今回は漢字の補足の仕方について具体例で考えていくことにしましょう。

以下、具体例について、それぞれが、前回上げた5つのポイントのどれにあたるかを考えながら、それぞれにふさわしい補足を考えてみましょう。

5つのポイント

1. 同音異義語
2. 造語
3. 漢字が問題
4. 音と訓の関係が分からない
5. イメージを深める

*注意 以下の例文は、該当の漢字をわざと「カタカナ」で書いています。また、該当の言葉についてはここに書いている以上に説明がない場合を前提にしています。

- 例1. 最近の若い人達に人気のある、「ザ トラブリュウ」というバンドのことについて紹介しましょう。……
- 例2. 電話で、「ボクシ」のことについて書いてくれと頼んだら「ボクシ」について書いてきた。あの人が「ボクシ」を知らなかったとは驚いた。
- 例3. 父は「岩村キョウセン」と号するもの書きでした。……「カガミカワ」というのは高知市内を通って土佐湾に流れ込む川の名前です。
- 例4. 『享保御用陣』の台本は、表紙に「キョウ」の字を誤って「キョウ」と書いてある。読んでみると女賊お六が旅の途中で出会った……
- 例5. ある駅のホームで電車を待っていると、アナウンスで「列車はタキヤクの為、2分ほど遅れます。」と入った。「タキヤク」のことだろうが、目に訴える言葉をいきなり声で聞かせるのは乱暴だ。

■ 例1は固有名詞で字の説明をしたらイメージが深まる例です。バンドの名前は「The 虎舞竜」と書きますが、字の説明があつてはじめてイメージが深まります。補足の仕方としては、「最近若い人達に人気のある、ざ、とらぶりゅう、ざは英語、とらぶりゅうは、動物の虎に、舞踊のぶ、舞うに、竜、The虎舞竜というバンドのことについて紹介しましょう。・・・」

■ 例2は同音異義語の例です。最初の「ぼくし」は人の名前の「墨子」、後の「ぼくし」は「牧師」のことです。

この場合の補足の仕方は、漢字を説明したのでは正確に伝わりません。たとえば「はじめのぼくしは墨子のすみにこどものこ、あとのぼくしは牧場の牧に、教師のし」これでは漢字を知っている人にしか伝わりません。この例のような場合は、「最初のぼくしは、ひとの名前、後のぼくしは教会の牧師」などと言葉を補足することが必要です。

同じ同音異義語でも「こうようじゅ」のような場合、「硬葉樹」もあれば「広葉樹」もあり、す。区別が必要になった時は、字を説明することでどちらの言葉にあたるかは分かります。

つまり、同音異義語を説明する時は、「複数のことばがあつて、そのどちらの言葉かを分かるように補足することが目的」ですから、漢字の補足では分からないような時には、ことばを補ったり、意味を補足したりする場合が出てくるわけです。

■ 例3は、同じ漢字でも音読みと訓読みで違う場合の例です。この場合、最初の「きょうせん」は「鏡川」であとの「かがみがわ」も「鏡川」です。漢字を見ている人は「きょうせん」の号が「かがみがわ」という川の名前からとっていることがすぐにわかるのですが、聞いている人には補足がないとわかりません。補足の仕方としては、

「父は岩村鏡川、きょうはかがみ、せんはかわ、岩村鏡川と号する・・・」と最初に「きょうせん」の字を補足しておく、後の「かがみがわ」との関係がはっきりします。

■ 例4は、漢字が問題になっている例です。この場合、よく似た字で間違えたことが問題になっている例です。どちらも「きょう」と読みますが、この場合、子と了の字が似ていることからくる間違いが問題になっています。本文でこの説明がある場合は別ですが、なにも説明がないしなぜまちがったのかがわかりません。

補足の仕方としては「・・・と書いてある。音声訳者注、はじめのきょうはなべぶたに口とこどもの子、あとのきょうはなべぶたに口と子の字の横棒がない了という字です。注終わり。」

■ 例5は造語といえるものです。これは「多客」のことを言っています。「他客」という言葉は『日本國語大辞典』にはありますが、ここで使われている「多客」は辞書には載っていません。日頃聞かれないことばですので字の説明が必要です。2度目の「タキヤク」の時に「多い客」などと補足するとはっきりします。

正誤表から・・・その31

| 語句 | 誤読 | 正しい読み | 語句 | 誤読 | 正しい読み |
|----|-------|-------|----|------|-------|
| 数多 | スウタ | アマタ | 畏敬 | ルイケイ | イケイ |
| 予て | マエモッテ | カネテ | 甲板 | カンパン | カンパン |
| 夫子 | フシ | フウシ | 台頭 | タイトウ | タイトウ |
| 正眼 | ショウガン | セイガン | 花蜜 | ハナミツ | カミツ |

二通りの読み方があるって各々意味が異なるもの・・・その18

| | | | |
|----|-------------------------------------|----|---|
| 言掛 | イカカ 言い出して後に引かないこと。 イカカ 話しかけること。 | 一見 | イケン ちらっと見ること。とおり見ること。 イケン 初対面 |
| 有性 | ウケイ 雌雄の区別があること。 ウケイ 仏となる素質のあるもの。 | 明白 | メイバク 明らかで疑う余地のないこと。 メイバク 文字など書いた左右天地の空白。 |
| 一人 | イチヒト 第一人者、もっとも優れた人 ヒトリ | 足取 | アソトリ 相撲の手の一 アソトリ あしつき、足のはこび。 |

図・表講習会のご案内

'93年10月より、10回にわたって「図・表講習会」が、毎日新聞大阪社会事業団および点字毎日部主催、盲人情報文化センター後援で「専門図書音訳講習会・理数コース」の名称で行われます。

この講習会への参加を希望される方は、電話で盲人情報文化センター録音製作係までお問い合わせください。

記

名称： 専門図書音訳講習会（理数コース）

資格： 1) 現在、音訳ボランティア活動に携わってる方

2) 9月28日(火)10時～12時に漢字の読みと図表などの音訳テストを行います。当日都合のつかない場合は調整します。

定員： 10名程度。

費用： 無料

期間： 93年10月6日(水)～12月15日(水)

毎水曜日 10時～12時

会場： 盲人情報文化センター

**第1回
音訳研修の会**

場所： 盲人情報文化センター9階
日時： 1993年9月24日(金)
13:30~15:30
内容： 音声変換研究(処理の研究)

**音訳グループ
リーダー連絡会**

場所： 盲人情報文化センター9階
日時： 1993年9月24日(金)
15:30~16:30
内容： 1. グループ交流・意見交換
*音訳研修の会終了後行います。

三療関係図書音訳勉強会ご案内

第1回 9月17日(金)

講師： 片山 一夫 氏(国立神戸視障センター)
会場： 盲人情報文化センター 6階ボランティアルーム
時間： 午後3時~5時

* 9月より(毎月第3金曜日)、かねてから希望のありました三療関係の勉強会を国立神戸視障センターの片山氏のご協力でスタートすることになりました。この勉強会に参加希望の方は、係りまで申し出てください。

リクエスト図書一覧

以下の図書は利用者から製作依頼を受けている図書です。

グループの方で、音声訳が可能な方がありましたら係までご連絡ください。

- 『ジュラシック・パーク 上』/マイククライトン著 <ハヤカワ文庫・小説>
『河内野新歳時記創刊25周年記念』/若林南山著 <俳句>
『朱龍賦』伴野朗著 <小説>

リクエスト製作協力グループへのお知らせ

リクエスト図書の製作にご協力頂いているグループの方に、ソニーのカセットデッキ(SONY-RX70 1台SONY-RX77 1台 SONY-RX79 2台の計4台)を4人まで貸出します。但し、デッキのみです。希望者される方は、グループリーダーを通して係りまでお申し込み下さい。

*8月の締切までにどなたからも希望がありませんでしたので引き続き受け付けています。